

株主の皆様へ

第66期 中間事業報告

平成23年12月1日 ⇄ 平成24年5月31日



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

<http://www.ooc.co.jp/> 証券コード 4187

株主の皆様へ

TOP MESSAGE

C O N T E N T S

01	株主の皆様へ
03	TOPICS
05	売上高の構成(連結)
06	事業フィールド
07	中間連結貸借対照表
08	中間連結損益計算書、 中間連結キャッシュ・フロー計算書、 業績の推移
09	会社概要
10	株式の状況
11	株主メモ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご支援、ご指導を賜わり有難く厚く御礼申しあげます。

第66期上期(平成23年12月1日から平成24年5月31日まで)の決算を行いましたので事業の概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要等を背景として、緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州政府債務危機の懸念が高まり、原油高や円高の影響により依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下で当社グループは、安定収益基盤である化成品事業においては主力のアクリル酸エステルの生産拠点の集約化と生産性改善による競争力の強化とシェア拡大を図り、半導体材料や表示材料の電子材料事業においては海外展開の強化と次世代材料開発に注力し収益性の改善に努めてまいりました。また、平成24年3月に上海駐在事務所を開設し、海外販売・マーケティングの拠点として活動を始めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は107億7千4百万円(前年同四半期比 6.1%減)、営業

利益は4億2千2百万円（前年同四半期比 59.0%減）、経常利益は4億5千万円（前年同四半期比 56.8%減）、四半期純利益は2億2千5百万円（前年同四半期比 59.8%減）となりました。

配当金につきましては、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図るとともに株主の皆様への利益還元を経営の重要政策として位置づけ、会社の業績や今後の事業計画に備えた内部留保等を勘案してバランスをとりつつ決定しており、平成24年11月期におきましては1株当たりの年間配当12円（中間6円、期末6円）を予定しておりましたが、業績が当初予想を下回る見込みとなったため、年間配当9円（中間4円、期末5円）に修正させていただきました。

当期の見通しにつきましては、緩やかな持ち直しの動きが持続することが期待されるものの、欧米を中心とした景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動等の不安材料により、先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社及び子会社といたしましては、安全確保を第一に、製品の徹底した品質管理と生産コストの削減や環境保全に努め、業績回復に向けて新規製品の開発・販売に全社を挙げて取り組んでいくとともに、引き続き大阪工場の再整備計画を

進め、全社での製品生産体制合理化の強化と業績の向上を目指し、一層の財務内容の健全化を進める所存であります。

現時点での通期の連結業績見通しは、売上高221億8千2百万円、営業利益8億3千万円、経常利益8億9千9百万円、当期純利益4億8千7百万円を予定しております。

株主の皆様におかれましても、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年8月

取締役社長
鎮目 泰昌



上海事務所開設

平成24年3月、中国上海に新たな事務所を開設いたしました。正式名称は、「日本大阪有機化学工業株式会社上海代表处」であります。

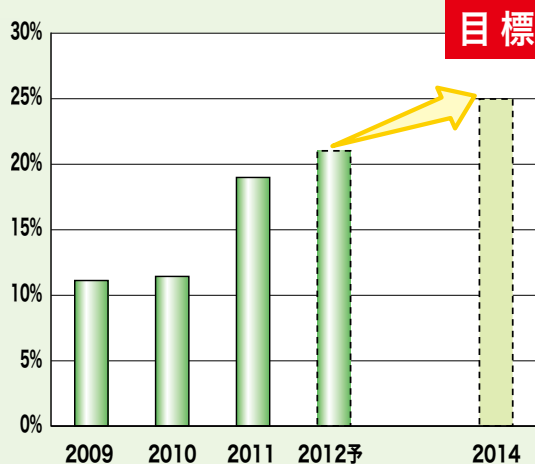
ここ数年で中国をはじめとする海外市場は、日本と比べて著しく成長しており、当社におきましても、化成品事業の自動車塗料向け樹脂原料や、電子材料事業の液晶材料、機能化学品事業の化粧品原料などを中心に、海外売上

高比率は年々増加してきております。平成21年11月期における海外売上高比率は約11%でありましたが、平成26年11月期の同比率は25%を目標としております。

この度開設いたしました上海事務所では、海外販売強化の拠点として3事業製品の現地情報を収集し、マーケティングを推進することにより、競争力のある製品の販売を進めてまいります。



海外売上高比率



副生油処理システム

当社金沢工場（石川県白山市）に建設いたしました「副生油処理システム」は、日本機械工業連合会が主催する第32回優秀省エネルギー機器表彰（平成24年2月）におきまして、平成23年度日本機械工業連合会会長賞を受賞いたしました。さらに5月には、社団法人大阪工研協会から平成24年度第62回工業技術賞を授与され、工業技術面において顕著な成果を発揮したものとして認めていただきました。

本システムは、製造工程で排出される副生油を燃料化するとともに、含まれる有価金属を回収するというゼロエミッションを目指すものであります。この開発には、新興プランテック株式会社（横浜市）、株式会社高尾鉄

工所（大阪府豊中市）と当社が共同で研究・テスト運転を行い、改良を重ねてようやく実現いたしました。昨年の11月には東京ビッグサイトで開催されたINCHEM TOKYO2011において装置の展示と説明会を行い、国内外に広く紹介いたしました。



優秀省エネルギー機器表彰式(当社鎮目社長:写真左)

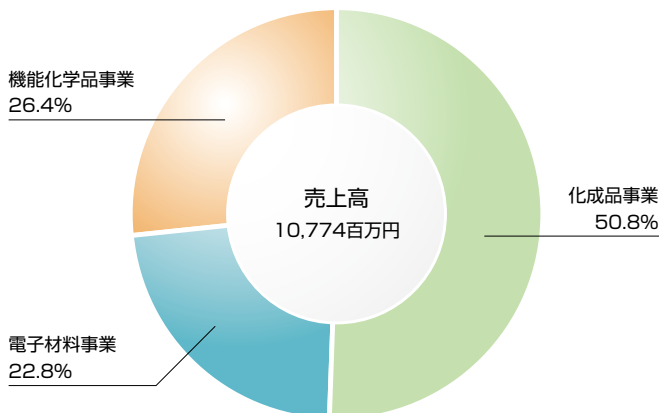


平成24年2月14日に開催された竣工式の様子(当社鎮目社長:写真中央)



INCHEM TOKYO 2011 出展の様子

連結



連結経営成績

化成成品事業

主要商品：●自動車塗料・建築材料等塗料 ●光ファイバー被覆剤 ●下水処理剤 ●紙力増強剤 ●アクリル酸

化成成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、エコカー補助金等の政策効果を背景に、自動車塗料樹脂関連の販売が好調を維持しましたが、液晶関連の電子材料用途は依然として低迷しており、売上高は減少いたしました。メタクリル酸エステルグループは、需要の回復が低調に推移したため、売上高は減少いたしました。この結果、売上高は54億7千8百万円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント利益は1億4千2百万円（前年同四半期比46.4%減）となりました。

電子材料事業

主要商品：●液晶用材料 ●半導体材料

電子材料事業におきましては、表示材料グループは、液晶パネル関連業界の需要低迷が継続しており、売上高は減少いたしました。半導体材料グループは、末端需要は好調ながらも一部で在庫調整等の影響により、売上高は減少いたしました。この結果、売上高は24億5千7百万円（前年同四半期比12.4%減）、セグメント利益は2億1千1百万円（前年同四半期比61.3%減）となりました。

機能化学品事業

主要商品：●化粧品原料 ●医薬中間体 ●溶剤、その他

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、海外需要の増加を背景に売上高は好調に推移いたしました。機能材料グループ（医薬中間体、その他）は、販売が低調に推移し売上高は減少いたしました。この結果、売上高は28億5千7百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益は5千3百万円（前年同四半期比75.5%減）となりました。



中間連結貸借対照表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 24.5.31現在	前中間期 23.5.31現在	前 期 23.11.30現在
(資産の部)			
流 動 資 産			
現金及び預金	4,331	5,021	5,044
受取手形及び売掛金	5,779	6,207	5,850
有価証券	894	1,398	574
製品	1,965	1,845	1,853
仕掛品	849	840	812
原材料及び貯蔵品	693	747	633
繰延税金資産	137	110	148
その他	97	78	80
貸倒引当金	△ 7	△ 8	△ 8
流動資産合計	14,740	16,241	14,989
固 定 資 産			
有形固定資産			
建物及び構築物	4,435	4,548	4,413
機械装置及び運搬具	2,055	2,371	2,213
土地	2,233	2,233	2,233
建設仮勘定	1,341	12	857
その他	302	310	312
有形固定資産合計	10,368	9,476	10,029
無形固定資産	306	29	145
投資その他の資産			
投資有価証券	3,317	3,555	3,130
長期預金	400	500	700
保険積立金	264	252	258
繰延税金資産	139	11	125
その他	92	116	97
貸倒引当金	△0	△0	△0
投資その他の資産合計	4,214	4,435	4,311
固定資産合計	14,889	13,940	14,486
資産合計	29,630	30,181	29,476

科 目	当中間期 24.5.31現在	前中間期 23.5.31現在	前 期 23.11.30現在
(負債の部)			
流 動 負 債			
支払手形及び買掛金	3,326	3,471	3,105
短期借入金	30	30	30
1年内返済予定の長期借入金	768	894	818
1年内償還予定の社債	160	160	160
未払金	1,296	450	1,001
未払法人税等	110	330	184
賞与引当金	-	29	-
役員賞与引当金	14	21	38
その他	630	655	430
流動負債合計	6,337	6,042	5,769
固 定 負 債			
社債	220	380	300
長期借入金	761	1,419	1,131
繰延税金負債	8	10	6
退職給付引当金	-	97	41
役員退職慰労引当金	470	448	467
固定資産撤去損失引当金	280	280	280
その他	347	95	234
固定負債合計	2,087	2,731	2,460
負 債 合 計	8,424	8,774	8,230
(純資産の部)			
株 主 資 本			
資本金	3,600	3,600	3,600
資本剰余金	3,680	3,680	3,680
利益剰余金	13,690	13,537	13,648
自己株式	△ 3	△ 3	△ 3
株主資本合計	20,967	20,814	20,925
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	43	408	134
その他の包括利益累計額合計	43	408	134
少数株主持分	193	184	185
純資産合計	21,205	21,407	21,245
負債純資産合計	29,630	30,181	29,476



中間連結損益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、業績の推移

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	当中間期 23.12.1より 24.5.31まで	前中間期 22.12.1より 23.5.31まで	前 期 22.12.1より 23.11.30まで
売 上 高	10,774	11,478	22,655
売 上 原 価	8,683	8,757	17,678
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,668	1,688	3,388
営 業 利 益	422	1,032	1,588
営 業 外 収 益	52	52	139
営 業 外 費 用	24	43	72
経 常 利 益	450	1,041	1,655
特 別 利 益	0	0	70
特 別 損 失	54	63	319
税金等調整前四半期(当期)純利益	395	978	1,406
法人税、住民税及び事業税	97	318	480
法人税等調整額	62	72	87
少数株主損益調整前四半期純利益	235	586	838
少 数 株 主 利 益	9	26	29
四 半 期 (当 期) 純 利 益	225	560	808

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

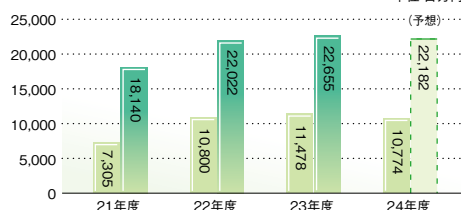
科 目	当中間期 23.12.1より 24.5.31まで	前中間期 22.12.1より 23.5.31まで	前 期 22.12.1より 23.11.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,120	988	1,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,407	△2,269	△1,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△725	926	330
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△1,013	△355	967
現金及び現金同等物の期首残高	4,678	3,711	3,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,665	3,355	4,678

業績の推移

■ 中間期 ■ 通期

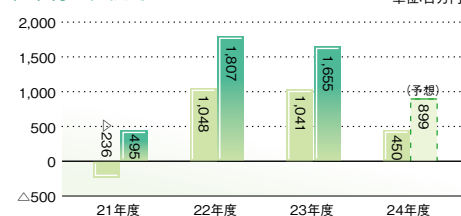
売上高

単位: 百万円



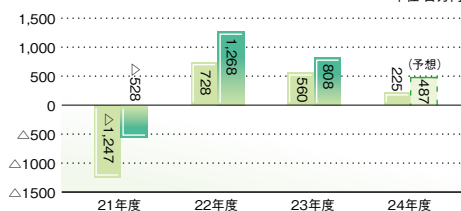
経常利益(△損失)

単位: 百万円



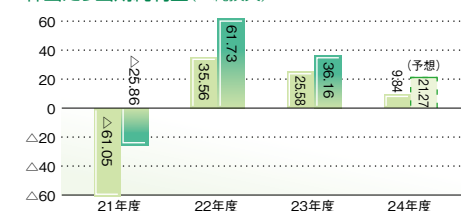
当期純利益(△純損失)

単位: 百万円



1株当たり当期純利益(△純損失)

単位: 円





会社概要

● 会社概要 (平成24年5月31日現在)

商 号	大阪有機化学工業株式会社
設 立	昭和21年12月21日
資 本 金	3,600,295,546円
発行済株式総数	22,937,038株
株 主 数	4,051名
従 業 員 数	383名
主 な 事 業 内 容	各種エステル化製品、有機合成品、特殊化学品等の製造及び販売



本社



東京オフィス

● 本社及び事業所

本 社	大阪市中央区安土町1丁目7番20号 TEL.06(6264)5071
東 京 オ フ ィ ス	東京都中央区日本橋本町1丁目7番2号 TEL.03(6202)7051
大 阪 工 場	大阪府柏原市片山町18番8号 TEL.072(978)6261
金 沢 工 場	石川県白山市松本町1600-1 TEL.076(276)6261
酒 田 工 場	山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23 TEL.0234(71)5721
八 千 代 事 業 所	千葉県八千代市大和田新田601番地 TEL.047(459)1271

● 子会社

会 社 名	神港有機化学工業株式会社
住 所	神戸市東灘区住吉浜町18番地の26
資 本 金	55,000千円
従 業 員 数	34名
事 業 内 容	酢酸エステルの製造販売





株式の状況

役員および理事(平成24年5月31日現在)

取締役社長	鎮目 泰昌
専務取締役	白築 良
常務取締役	上林 泰二
常務取締役	真銅 孝明
取締役	松永 光正
取締役	永松 茂治
取締役	佐伯 毅明
社外取締役	安原 徹
専務理事	相原 福雄
常務理事	山田 光信
理事役	岡本 博
理事役	野口 英志
理事役	吉田 和義
理事役	大引 明
常勤監査役	伊田 忠夫
社外監査役	吉村 勲
社外監査役	檜山 洋子

株式の状況(平成24年5月31日現在)

発行可能株式総数	76,000,000株
発行済株式総数	22,937,038株
株主数	4,051名

大株主

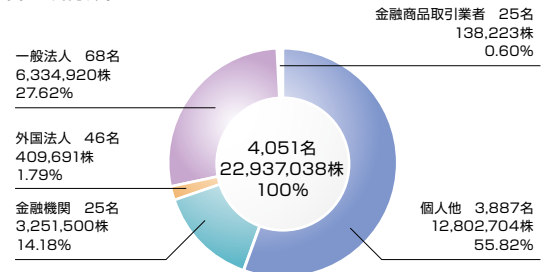
株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
鎮目泰昌	1,766千株	7.70%
三菱レイヨン株式会社	928	4.04
日本トラスティ・サービス信託銀行	922	4.02
日本マスタートラスト信託銀行	760	3.31
株式会社カネカ	700	3.05
鎮目歳子	673	2.93
株式会社日本触媒	596	2.60
大阪有機従業員持株会	580	2.53
安川義孝	580	2.53
嶋田早智子	538	2.34

(注) ※出資比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(22,927,727株)を基準に算出するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

会計監査人(平成24年5月31日現在)

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式構成



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	
定時株主総会関係	毎年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
公告の方法	電子公告 http://www.ooc.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
	株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 ○ 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) ○ インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
単元株式数	100株 (ご注意) 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式事務手続き

特別口座に口座をお持ちの株主様	各種のお手続き、ご照会は特別口座管理機関
特別口座から一般口座への振替請求	および株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部へお問合せください。
単元未満株式の買取(買増)請求	
住所・氏名等のご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問合せ	
証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続き	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



ホームページアドレス
http://www.ooc.co.jp/